

Rotary



白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

創立 1986 年

2019～2020年度クラブ目標

『共に手をつなごう
ロータリーのもとで』

会長 中目 公英
幹事 兼子 英聡



ロータリーは
世界をつなぐ

2019-20年度国際ロータリーテーマ

第1613回例会

令和元年12月26日 (18:30～19:30)

○ソング

- 奉仕の理想

○スマイルBOX

- 中目公英会長 (年次総会にご協力いただき、ありがとうございました。吉野会長エレクトを始め、次年度理事の皆様のご活躍をご期待致します。令和2年の新年を、つつがなくお迎え下さい。)
- 鶴丸彰紀会員 (今年も楽しくロータリー活動に参加させて頂きありがとうございます。喪中のため新年のごあいさつを失礼致しますが来年も宜しくお願ひ致します。)
- 鈴木孝幸会員 (吉野、堀田年度準備完了おめでとうございます。次々年度の為、一年間、私と須藤副幹事でしっかりと勉強させて頂きますので宜しくお願ひ致します。)
- 片倉義文会員 (今年一年お世話になりました。来年も宜しくお願ひします。)
- 永野文雄会員 (年次総会おめでとうございます。次年度の吉野会長、鈴木孝幸エレクトの活躍を期待します。1年間ありがとうございました。)
- 堀田一彦会員 (新役員承認ありがとうございます。)
- 居川孝男会員 (中目・兼子年度も振り返り点ですね！頑張ってください！来年がみなさまにとって良い年になりますように！)
- 宮本多可夫会員 (次年度総会、無事終了し、次年度吉野年度の基本が出来、いよいよウォーミングアップが始まりました。中目年度、あと半年がんばって下さい。)
- 齋藤孝弘会員 (来る年もよい年でありますように！)
- 吉野敬之会員 (本日は次年度役員案を御承認いただきまして、誠に有難うございます。(承認されてなかったらすみません) 皆様の信頼を裏切らぬ様一年間頑張っていますので宜敷くお願ひ致します。)
- 金田昇会員 (年次総会開催おめでとうございます。いよいよ年の瀬です。皆様良いお年をお迎え下さい。)
- 関谷亮一会員 (2019-2020年の年次総会原案通り決定おめでとうございます。中目会長・兼子幹事半期が終了し御苦勞様でした。あと半期の活躍を期待致します。)
- 成井正之会員 (中目会長・兼子幹事半年ご苦勞様でした。来年も宜しくご指導お願ひいたします！年次総会、誠に有難うございます。来年度会長吉野さん、幹事堀田さん、来年頑張ってください。)

▶第1613回例会出席状況 (R元年12月26日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	44名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	58名
Ⓒ ①の出席者数	24名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓕ ②の出席者数	9名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	33名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	53
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	62.26%

▶例会日: 第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30～19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間

中目公英会長

皆さん、こんばんは。今日は、令和元年の一番最後の例会であります。年の瀬が押し寄せた中、何かとお忙しい中、年次総会の今日の例会にご出席をいただきまして大変ありがとうございます。今日のプログラム委員長のほうの年次総会は通常シャンシャン総会で終わったあと、会員の卓話であるとか一つプログラムを用意しているのが普通なのですが、今日はそのプログラムは用意されておられません。早めに皆さんと一緒に懇親を深めるところなんですけれども、会長の時間を少し長めに喋れというふうなお話でございますので、ちょっと少し話をさせていただければと思います。まず初めに、先週の例会のあと理事会がありましたので、理事会の報告の中で多くは年次総会の中でお話しさせていただくことなので、特に報告させていただかないといけないことをまず初めに報告させていただきます。大変残念な報告であります。実は我がクラブの会員の小林仁一さん、「メディアポート福島」の社長さんで我がクラブでいうと職業奉仕委員長を受けていただいている小林仁一さんのほうから退会届が出されました。一身上の都合で今月12月31日をもって退会をさせてもらいたいというふうな退会届が提出されました。理事会のほうで審議をいたしまして致し方なしというふうなことで、今回の小林さんのほうの退会を認めるというふうなことになっております。58名でスタートしました私の年度、57名で上半期を折り返すというふうなことになってしまいました。何とか35周年の吉野君の時に60名でバトンタッチしたいと思っていたところなんですけれども残念なことになってしまいました。我がクラブには小林仁一さんが二人いたのですが、両方も残念ながら退会というふうな形になってしまいましたので、一番初めに残念な理事会の報告をさせていただければと思っております。それからもう一つ、ある会員の方からこのようなお話をいたしました。中目会長の時には、我がクラブの定款ないし並びに細則のほうをきちんと改定をして、立派に制度等々が整っているところだけでも実は質問があると。我がクラブには慶弔規定という規定がある。今日、皆さん方年次計画書をお持ちの場合は一番最後の14ページなのですが、この慶弔規定の第1節第3項に会員の誕生日及び結婚記念日には五千円相当の記念品を贈ると、こういうふうに書いてある。だけど現在、会員誕生日には三千円の商品券じゃないか。会長、あなたは規定を守ってないというふうな大変手厳しいご指摘をいたしまして、ルールはご説明を申し上げましたので、皆様方にも共通理解を持っていただきたいと思って、ここでちょっとお話をさせていただければと思っております。五千円相当の記念品を贈るというふうなことを違反しているわけではないというふうなことであります。会員誕生日にちょっとした記念品、もの、例えば今日私がしているネクタイピン、これも実は何年前の会員誕生日の時に買ったグッズですけども、これも五千円相当として頂戴をしたものであります。ただ今回、商品券でありますので商品券の場合には残念ながら商品券のその制作する費用と、あとは銀行さんでの換金手数料というのがございまして、その換金手数料が二千円かかるというそういう意味でございますので、五千円相当に違わない。ですから、今年度の親睦は商品券として三千円にいたしました。五千円相当という商品券の場合には二千円の換金手数料がかかるというふうなことでございますから、次年度の吉野年度に親睦委員長等々

に当てられた場合には、その二千円の換金手数料が高いとみるか安いとみるかは、それぞれの皆さん方の二千円のうち東邦銀行さんは相当儲かっているわけですから、それはなかなか大変だといった場合には商品券以外のものを考えれば渡す時にこれは五千円ですと言って渡してもらえればいいのであって、今年の私の年度はそういうふうになって、残念ながら二千円の手数料がかかっているというふうなことをご了解いただきたい。規定には違反してないということも、今日の会長の時間で一つお話をさせていただいたということでもあります。それからもう一つ、皆さん方のお手元にロータリーの週報が届いていて、その中で幹事報告の中に2019年度規定審議会の決定報告という項目が1項目あります。先週、皆さん方のお手元にその書類を回覧いたしまして、本当であれば皆さん等しくご理解をいただいているというふうに認識するわけなんですけれども、そこで皆さん方に質問をいたします。規定審議委員会というのは何でしょうか。ロータリー、国際ロータリー、あるいは私たちのクラブのロータリーのことに關しましてもいろいろなことを決める場合には、私の年度は口を酸っぱくして三年に一度の規定審議会があって、いろいろな規定をそれを変えたいというふうなことを何回もお話してきました。しかし、ロータリーにはもう一つ決議審議会という審議会があります。実はこれも大変国際ロータリー、あるいは地区等々のロータリーのあり方について大きな決定権を持っているものです。つまり、三年に一回の規定審議会が三年分のロータリーのいろんなことをすべて、ああでもない、こうでもない、というふうに審議していたのでは、会議の時間的にすべてのことについて話し合うことはできません。それで現在国際ロータリーのほうでは、一年に一回、国際ロータリーの定款細則、あるいは我がクラブの標準クラブの定款、ならびに推奨細則等々のいわゆる規定として明文化されているものを変える場合には三年に一回の規定審議会なんですけれども、国際ロータリーのいろいろな運営方針であるとか何だかんだをいろいろな方向を決める場合には、その規定審議会ではなくて、年一回行われるところのこの決議審議会というので議論をするというふうになっております。これは毎年、10月15日から11月15日までの一か月間行われます。一か月間、毎日毎日集まって首突き合わせて会議しているのかということそうではありません。これはオンライン。インターネット会議になっております。2530地区から一人だけ代議員が選ばれておまして、その代議員の方は必ずパソコン上でいろいろなやり取りをして、このことには賛成をする反対をするというふうな形でいろいろな形にしています。それは国際ロータリーのテーマであるとか、あるいは運営方法であるとか、規定の明文化するまではないけれども国際ロータリーのいろいろなあり方についてどのような形でやっていこうかということを決めるのがこの決議審議会であります。この決議審議会が11月15日で終わったので、その報告を皆さん方に先週しましたというふうなことでありますけれども、おそらく誰一人として決議審議会でどんなことを決めたのかについておそらく理解をしていただいた会員の方はいないのではないだろうかと思ひまして、少し年次総会の前ですけどもお話をさせてもらいたいと思って少しお話をします。今年、10月15日から11月15日までの間にこの決議審議委員会のほうに決議案が33件上程されました。我がクラブもこうこういうふうなことを国際ロータリーで方針として決めてもらいたいというふうな原文を作れば、それが地区の役員の方の承認をすれば、この国際ロータリーの決議審議委員会のほうに決議案を出すことは可能です。そのくらいにある程度フランクな形で

行われる審議会で、その33のうち全世界の代議員の方々、これは賛成する反対するとインターネット上で投票しまして7件が採択をされました。その7件につきまして、その題名だけ案件だけ申しあげます。クラブ内に戦略委員会の設立を奨励することを検討するようR I理事会に要請する件。つまり、各クラブに国際ロータリー等々が一生懸命いっている戦略委員会。我がクラブの場合は、この前定款変更してビジョン推進研修委員会というふうに名前を変えましたが、その戦略委員会をあまりにも委員会として設定しているクラブが少ないので、国際ロータリーの理事会で各クラブに必ず戦略委員会を作るように要請しなさいというふうなことを提案をするというふうなことが、これが採択をされました。これを我がクラブはもう既にやっておりますから、この採択される以前からやっておりますのでいいことだと思います。もう一つ、ローターアクトクラブのための指針を推奨するよう検討するようR I理事会に要請する件。これが採択されました。国際ロータリーでは、ローターアクトクラブというのをロータリークラブと同等に扱うというふうに2019年の規定審議委員会で変わりましたので、ローターアクトクラブを普通のロータリークラブと同等程度のクラブとして認めるためには、ある程度厳格なローターアクトクラブの指針をきちんと確立しないといけないんだから、その指針をどういうふうにしたらいのかR Iの理事会できちんと決めるという要請が採択になりました。ただ、我がクラブにはローターアクトクラブがありませんから、あまり直接的に関係するところではありませんが、そういうふうなことが採択されました。その次、3番目。職業奉仕も含め、ロータリーの成果と活動の全部を広報することを検討するようR I理事会に要請する件。世界の行動人というテーマのもと、国際ロータリーはロータリー活動を一般の方々に広く知ってもらう活動を積極的にいたしますけども、まだまだ足りないので職業奉仕を含めロータリーの活動のすべてを広報するようもっと強力にR Iの理事会のほうで方針を明確にしないとイケないだろうと、そういうふうにしてほしいということが決議されました。4番目、会員増強の目的で職業奉仕を強調することを検討するようR I理事会に要請する件。これは日本ロータリーが要請したものですけれども、どうしてもロータリークラブのメンバーになってくださいといった場合に、強調するのはロータリーは国際奉仕をやっていますから、社会奉仕をやっていますからというふうなことは、強く新入会員を求めるときに会員になってくれる人に喋ることが多いのですけれども、ロータリーは自分の職業を通じて奉仕するというのがイコールロータリー活動なんだというふうなことをもっともっと強くPRしなさい。そういうふうなPRするための指針をR I理事会のほうで確立しなさいというふうな決議文が採択をされたということでもあります。これは日本ロータリーのある一部の地区のほうから上がってきた決議案であります。その次、R Iの税制上の地区の変更についてロータリーに情報を提供することを検討するようR Iの理事会に要請する件。R Iの税制上の地位の変更があったのですけれども、それが各クラブの情報があまく伝達されてない。我がクラブでも現在どのような形で税制が実際問題変わっているかというのがわかっていないところが多いので、それをもっとクラブ単位で落とし込めるようにR Iの理事会のほうできちんとした方針を決めなさいという決議案も採択をされております。その次は、グローバル補助金。当初、承認された予算に対する修正を許可することを検討するよう管理委員会に要請する件。これはロータリー財団のほうの管理委員会についてもっと検討しなさい。

い。グローバル補助金というのは数年度に渡ってやる事業なもので、当初の財団でグローバル補助金の予算を承認しても、何年か経てるうちに変更になる。予算の執行状況等々変更になるので予算の組み換えをしてもいいんだということを明文化して、きちんとある程度柔軟性をもってグローバル資金の使い方を明確にしたほうがいいので、ロータリー財団の管理委員会にその辺の道筋をはっきりするようというふうな要請を決議したというふうなことであります。一番最後、これは日本ロータリーにあんまり関係ないのですが、現地での電力供給プロジェクトにグローバル補助金の資金提供を可能にすること。つまり、アフリカ等々の貧困の国々で電力開発についてロータリーがいろいろな奉仕活動をする時に、それにグローバル補助金をもっともっと使いやすいような形で制度を変えなさい。財団のほうのグローバル補助金の使い方をもっと使いやすくしなさいというふうに決議をした。そのようなことであります。以上、この決議審議委員会で決議された議案について詳しく説明をさせていただきますまして、ロータリー情報を提供させていただきます、やっとな次総会が穏やかに迎えられるようですから会長の時間を終わりたいと思います。以上であります。

■幹事報告

兼子聡幹事

○県南分区分ガバナー補佐：例会訪問について

■本日のプログラム

2019-2020年度年次総会

○開会の挨拶

鈴木孝幸副会長



皆さん、こんばんは。今日は年次総会例会ということで、今年2019年残すところ1週間というところで、皆さんお忙しいのか出席も普段よりちょっと少ないかなというところは残念なところではございますが、今日は次年度の役員等々決める大切な総会でございますので、最後まで皆さんに慎重審議をお願いしたいと思います。それでは、2019-2020年度年次総会を開会いたします。

○会長挨拶

中目公英会長



10月28日の臨時総会におきまして、我がクラブの新しい定款ならびに細則のほうを皆さん方に採択をしていただきました。その第7条第2節、年次総会、この文章を読ませさせていただきます。年次総会、役員を選挙するため現年度の収入と支出を含む中間報告、及び前年度の財務報告を発表するための年次総会は細則の定めるところに従い、毎年12月31日までに開催されるものとする。このように定款のほうで定められております。10月28日の時にも申しましたが、現年度の収入と支出の中間報告、及び前年度の財務報告を発表するためという文章が今度新しく定款内に加わりました。そのために今日の年次総会もそのことを一つ加えているところでもあります。細則のほうで申し上げますと、5条の第1節、年次総会、本クラブの年次総会は毎年12月31日以前に開催されるものとする。そして、この年次総会において次年度の役員及び理事の選挙を行わなければならない。さらに、この年次総会においては現年度の収入と支出の中間報告と前年度の財務報告を発表しなければならないと定款にそのような形で細則のほうの年次総会も決められております。この新しい定款細則に従いまして今日年次総会を開かせていただきますので、皆様方のご

協力をよろしくお願い申し上げます。会長の挨拶と代えさせていただきます。

○今年度予算中間報告 会計 横田俊郎会員



皆さん、こんばんは。会計の横田でございます。それでは、中間状況を報告させていただきます。お手元にご置きます決算書をご覧くださいと思います。居川先生のほうにお忙しい中、決算書をお作りいただきまして大変ありがとうございました。収入の部、支出の部、それぞれ合計、小計だけ、予算額と決算額ご報告させていただきます。まず訂正がございまして、収入の部の一番下に白河西ロータリークラブ基金、予算額300,000円という計上がございますが、こちら誤りでございまして、従いまして合計金額予算額は13,987,266円が正しい金額でございます。申し訳ございませんでした。決算額合計が、7,453,811円。予算比、こちらも30万の訂正がございまして-6,533,455円となっております。ご訂正のほう、よろしくお願いいたします。続きまして、支出の部。R I 関係予算額、1,637,000円。決算額、1,067,872円。次に地区区分関係、予算額、2,130,000円。決算額、1,275,370円。次に運営費、予算額、3,560,000円。決算額、1,120,265円。支出の部、事業費、予算額、1,180,000円。決算額、160,784円。総務費、予算額、5,480,266円。決算額、1,996,576円。合計が、予算額、13,987,266円。決算額、5,620,867円でございます。収支差額、収入が7,453,811円。支出が、5,620,867円。繰り越しが、1,832,944円となっております。奉仕プロジェクト事業特別会計の決算でございます。収入の部、予算額合計、1,300,000円。決算額、568,066円。支出の部、予算額、750,000円。決算額、100,000円。収支の差額は、収入が568,066円。支出が100,000円で、繰り越しが468,066円。白河西ロータリークラブ基金の残高は1,400,010円となっております。中間の予算の状況に関しましては以上でございます。ありがとうございました。

○中目公英会長

ありがとうございました。国際ロータリーで定款変更で中期間に報告をしないというのは各クラブの会員数に応じますが、一千万を超えている予算で一年間運営するので金額が大きいので、中間段階でどのような形の予算の執行状況かを必ず各会員の皆さん方に現況報告しないという意味でこれを定款変更になっている形であります。これは報告でありますので審議ではないので、一応このような形で半年間の事業の報告、お金を使わせてもらっているということでもあります。何か特段皆さんのほうからご質問ありますでしょうか。ないと認めます。一応、これは報告ですから、これで終了させていただきたいと思いません。

○第1号議案

次年度役員承認の件 吉野敬之会長エレクト



改めまして、皆様こんばんは。それでは只今議長のほうからお話ありましたように、第1号議案といたしまして次年度役員の人選のほうを皆様のほうにお示ししたいと思います。お手元の資料のほうに出ておりますが、わたくしのほうから一人一人読み上げさせていただきます。会長、吉野敬之。会長エレクト、鈴木孝幸さん。副会長、高島裕さん。幹事、堀田一彦さん。会計、横

田俊郎さん。S A A、運天直人さん。職業奉仕、阿部克弘さん。社会奉仕、藤田龍文さん。国際奉仕、青木大さん。青少年奉仕、吉田充さん。ロータリー財団、諸橋和典さん。ビジョン推進研修、宮本多可夫さん。直前会長、中目公英さん。副幹事、須藤正樹さん。監事、居川孝男さん。同じく監事、成井正之さん。以上のメンバーを上程させていただきたいと思えます。ご審議のほどをよろしくお願いいたします。

全員承認 可決

○第2号議案その他



35周年記念実行委員長 居川孝男委員長

35周年記念実行委員長を仰せつかっております居川でございます。審議事項のお願いをしたいと思います。わたしども35周年記念式典を、令和3年、2021年4月10日の土曜日に35周年記念式典を当東京第一ホテルさんを使ってやりたいと思っております。翌日、4月11日曜日に、グランディ那須白河で記念ゴルフコンペを計画したいと思います。以上、日程と会場につきまして、ご意見もしくはこの日程でご承認いただければ進めていきたいというふうにお考えでございます。いかがでしょうか。

ありがとうございました。それでは今後、会場のほうを抑えて実行委員会のほう持ち上げていきたいと思えます。わたくし23代の会長だったものですから、それ以降の30代までの会長さん関係にご協力を賜りたいと思っておりますので、一応25代の金田さん、矢田部さん、小林さん、前原さん、吉田さんまでに各部会のほうの責任者になっていただくよう今後お願いする予定でございますので、30代までの歴代会長の皆さんはご協力のほど、よろしくお願いしたいと思います。その後、今年今年吉野年度で各委員長さんたちも決まってきたようでございますので、各委員会が主体で事業展開をして、私ども実行委員会としてはフォローできるように頑張っていきたいと思えますので、一つご協力の程よろしくお願いいたします。

全員承認 可決

■新役員挨拶

○幹事予定者 堀田一彦会員



次年度、幹事予定者の堀田でございます。それでは、新役員のほうを紹介させていただきます。名前をお呼びしますので、名前を呼ばれた方から前のほうにお進みください。吉野敬之会長予定者。鈴木孝幸会長エレクト予定者。高島裕副会長予定者。横田俊郎会計予定者。運天直人S A A予定者。阿部克弘職業奉仕予定者。藤田龍文社会奉仕委員長予定者。吉田充青少年委員長予定者。諸橋和典ロータリー財団予定者。宮本多可夫ビジョン推進研修委員長予定者。中目公英直前会長予定者。須藤正樹副幹事予定者。居川孝男監事予定者。成井正之監事予定者。

○会長予定者 吉野敬之会員



改めまして、先程はご承認いただきまして誠にありがとうございます。これから不祥事を起こさないで無事に来年7月を迎えられますと会長ということになる予定でございます。中目会長のようには含蓄のあるようなお話はできず、普段から固くない話はいくらでも喋ってられるんですけど、そういう中で皆さんここに揃いま

した役員、それと会員皆様のご協力を得て、来年一年間35周年積み上げてきましたこの西ロータリークラブの素晴らしさ、そういった歴史というものをさらに高められるように一生懸命頑張りたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

○会長エレクト予定者

鈴木孝幸会員



皆さん、こんばんは。来年、次年度の会長エレクトということですが、あっという間の時間の速さという感じです。中目会長、そして吉野さん、あと私ということで非常に緊張しております。吉野さんみたいに流暢に話せませんが、実直に準備をしていきたいと思ひますので、皆様よろしくお願ひいたします。

○副会長予定者

高畑裕会員



皆様、こんばんは。副会長予定者の高畑でございます。まず、遅れてきた上にこんな格好で非常に大変申し訳ございません。事の重大さを認識不足でした。ノミニーという言葉までは聞いたことがあるんですが、デグジネットとかそういう言葉は初めて聞いたような言葉であって大変勉強不足だなということを感じております。一生懸命頑張っで勉強していきたいと思ひます。いろんなことが重なってこういう立場にさせていただいたのも皆様のご指導と思ひますので、一生懸命なつたからには頑張っていきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

○会計予定者

横田俊郎会員



会計予定者の横田でございます。先程、法外な手数料を取っているのではないかとこの疑念が出ておりますので、これから一生懸命それを晴らしてきちんとした会計を務められるよう頑張りたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

○SAA予定者

運天直人会員



SAA予定者の運天でございます。昨年、SAAをさせていただきましたので今回は長ということで、スムーズな会場設営ができるように頑張りたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

○職業奉仕委員長予定者

阿部克弘会員



皆さん、こんばんは。阿部克弘です。職業奉仕委員長予定者ということですので、職業奉仕という名前に負けないように頑張っでやっでまいりたいと思ひしておりますので、どうかよろしくお願ひいたします。

○社会奉仕委員長予定者

藤田龍文会員



皆さん、こんばんは。社会奉仕委員長を仰せつかりました藤田と申します。来年でロータリーに入りましてやっで12年ということで、そろそろ名前と顔を覚えていただけたかなと思ひます。今までの委員長さんに見習っで、社会奉仕の委員会のミッションをこなしてい

きたいと思ひますし、使命ですのでそれに合わせた準備をしたいと思ひますので、ご協力の程をよろしくお願ひいたします。

○青少年奉仕委員長予定者

吉田充会員



皆さん、こんばんは。青少年奉仕委員会を担当させていただきます吉田でございます。来年35周年という節目の年に、記念事業となりえる事業を皆さんと一緒に考へて行動していきたいと思ひますので、一年間よろしくお願ひいたします。

○ロータリー財団委員長予定者

諸橋和典会員



皆さん、おばんでございます。ロータリー財団の諸橋和典でございます。吉野会長から諸橋和典さんとさん付で呼ばれるのは初めての気がしますが、吉野会長のもと心を入れ替えて頑張っでいきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

○ビジョン推進研修委員会委員長予定者

宮本多可夫会員



次年度、ビジョン推進研修委員会委員長を仰せつかりました宮本でございます。自分で委員会の名前もそらで言えない状態でございます。今年度は中長期戦略何とかで、今度はビジョン推進研修委員会という、今年度、中目会長が一生懸命この定款細則の整備をして今回何とか形にできて、この後またこの中目年度でやり残していることは、今度皆さんでホームミーティング等々でアンケート的に、我がクラブがどんなふうな理想の形を各人が描いているかではありません。各人です。一人一人のロータリー会員がどういふふうに西クラブの理想形を持つのか、持っているのか、持とうとしているのか、持たないのか、そういうことも含めてこの半期をやり残しているところがあつてやろうと思ひしております。それで、そういう流れで吉野さんのほうも、先生ついでに来年もよろしくお願ひしますなんていうことを言われて、軽く請け負ってしまったものですが、こういう縁の下で力持ちな委員会、やはり今年度の定款細則を詳細に検討して会長のほうから説明を受けて非常に皆さんも風通しのよく感じているんじゃないかと思ひます。こういう定款細則みたいなものがどこかにあるんだろうではなくて、意識的にやることによって自分たちの出来ることを再確認できるという意味ですね、今年度中目会長が行った事業というのは非常に大きいものがあったと思ひます。そういうことを次年度も引き続き縁の下で力持ちでやっでいきたいと思ひます。ちょっと話が長くなつてしまいましたけども、来年度もよろしくお願ひいたします。



○直前会長予定者



中目公英会長

皆様のご協力のもと、今年年次総会で決めていただきました。ありがとうございます。私はもう体が軽くなっちゃって軽くなっちゃってどこかに飛んでくふうな気持ちであります。こんなにロータリーって楽しいんだなって今感じております。吉野君の年度は乾杯の挨拶要員で一年間、どこかに飛んでかないために押さえておいてもらわないと次に行っちゃうかもしれません。一つどうぞよろしくお願いいたします。

○副幹事予定者



須藤正樹会員

改めまして、こんばんは。来年度は副幹事ということで、今年度の堀田副幹事を見習いまして来年度は堀田監事のサポートをできるように頑張っていければいいかなと思いますので、よろしくお願い致します。

○監事予定者



居川孝男会員

万年監事の居川でございます。来年度は税理士を一人入れたいなと思っております。よろしくお願ひします。

○監事予定者



成井正之会員

初めての監事をやらさせていただきます成井です。よろしくお願ひします。吉野会長が暴走しないようにしっかりと締まってですね、見ていきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

○幹事予定者



堀田一彦会員

最後に、次年度幹事予定者の堀田でございます。今日からあんまり飲みすぎないようにして頑張っていきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願い致します。このメンバーに青木大国際奉仕委員長予定者を加えたメンバーで頑張っていきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願い致します。

○閉会の言葉



高畑裕会長ノミニーデグジネート

大変お疲れ様でございました。以上をもちまして、2019-2020年度年次総会のほう終了させていただきます。どうぞよろしくお願い致します。ありがとうございました。

■2019-2020年年次総会懇親会

○会長挨拶

中目公英会長

本日、3回目の登場であります。年次総会の時にはお話しなかったのですが、この場で一つ皆様方にご報告をさせていただきます。懇親会のはじめの会長の挨拶にさせていただきます。吉野年度の理事が只今決まりました。現在、2530地区のほうでも次年度のいろいろな人事案件を構想しております。実は過日、来年度のガバナー、郡山ロータリークラブの石黒ガ

バナーエレクトのほうから内々で電話がありました。私の会長になる時には残念ながら西ロータリークラブから地区へ役員として人を輩出することが残念ながら叶いませんでしたが、石黒年度、来年度には我が西ロータリークラブから地区へ2名出向者を輩出することができました。皆さん方のご協力ありがとうございます。以上、完全な確定ではありませんが決まったところの2名をご報告いたします。これは私が決めたわけではなく、吉野会長エレクトが決めました。一人が、金田昇さん。これが2530地区のロータリー財団委員会、大委員会もとの小委員会の委員長に出向となっております。それからもう一人、わたくし中目公英。青少年奉仕委員会のほうに出向になりまして、小委員会のRYLA委員会の平メンバーで出向するようになっております。まだ、おそらく石黒ガバナー年度の2530地区の役員の委員がすべて決まっているわけではありません。おそらく、突然皆さんのほうの携帯に石黒ガバナーから直接電話がかかってくるかもしれませんし、次年度の地区の役員のどなたかから電話がかかってくるかもしれません。その時は、はい喜んでなかかもしれませんが、西ロータリークラブは来年度35周年という吉野君の年度の通常の事業のほかに35周年の記念事業もいろいろあるものですから、その場で自分で決めてしまわないで、大変ありがたいお申し出ありがとうございますと言った後、一応次年度の会長の内諾を得てから受けるかどうかを正式にお伝えをいたしますから、ちょっとお時間をくださいというふうに皆さん申しあげてください。我がクラブから2530地区に沢山の人数の委員を輩出するというのは、近い将来我がクラブからガバナーを出す時の大変勉強になることですから、多くの方々に地区に出向していただきたいのですけれども、そういうふうな事情があるものですからその時には一回電話を聞いたならば吉野エレクトのほうに私が出向にもしかしたらといった時に、吉野エレクトさんが、いや君は駄目だ、クラブ内でこの委員長をやってもらわなくちゃいけないんだから地区に行かないでくれとこう言われるかもしれませんから、その辺の西クラブ内での意思疎通をある程度明確にした上で、2530地区、あるいは国際ロータリーまで飛んでつてもかまいませんけれど、そのほうに出向にしていただければありがたいと、そのような形で金田さんと私が来年度だけ2530地区のほうに出向することが内々で内諾になったということだけご報告をさせていただきます。懇親会の時の会長の挨拶に変えさせていただきます。楽しくやりましょう。ありがとうございます。

○乾杯

鳴島三夫パスト会長

皆さん、こんばんは。今年最後の年次総会も無事に終了して、中目年度も肩が軽くなってあと半年頑張っていたかと思ひます。また、来年の吉野年度も準備も着々と進んでおりますので、皆さんで応援して盛り上げていきたいと思ひます。それでは、来年も良い年でありますように、また皆様方のご健勝と西ロータリークラブのますますの発展を祈念して乾杯したいと思ひます。それでは、ご唱和をお願いします。乾杯。

